

“川崎・香港 ラウンド・テーブル・ミーティング” が開催されました。



“川崎国際環境技術展2009”における
海外からの参加者の紹介です。

境関連装置等を、日本ベシック株式会社が浄水器付き自転車のプレゼンテーションなどを経て、川崎・香港の連携による中国への環境技術移転をいかに実現するかというテーマを踏まえて、香港の金融、知的財産保護等の状況を含めて、具体的なビジネスマッチングに向けてのディスカッションとなりました。

このミーティングには川崎日中産業交流協会会員の皆様をはじめとして、約30名の方が出席しました。今回の取り組みは、昨年10月の市長香港訪問の際に、川崎市と香港貿易発展局との経済交流覚書の締結の具体化として、意義のあるものとなりました。

また、国際環境技術展にはアジア地域からの参加者として、中国からは上海環境産業グループ、中国中小企業協会、天津市工商会、韓国からはアジアサイエンスパーク協会といった企業・団体関係者が多数来場し、本市及び市内企業の優れた環境関連技術をアピールすることができました。

国際経済・アジア起業家支援室では、アジア地域を対象に、環境技術移転に寄与するべく、今後も海外関係団体と連携を図っていきます。

◆問い合わせ先

川崎市経済労働局国際経済・アジア起業家支援室 ☎044-200-2336 ☎044-200-3920 E-mail 28asia@city.kawasaki.jp

「日韓ITモバイルフォーラム」が 韓国大邱市で開催されました。

～川崎-大邱産業交流協議会の事業紹介です～

2月27日(金)に、「日韓ITモバイルフォーラム」が、韓国大邱市で開催され、両地域のIT企業の産業交流の場になりました。昨年7月には、同じフォーラムが川崎市内で行われており、相互開催であるこの試みは今後、企業間の人材交流を含めた交流が促進されると期待されています。慶北大学イノベーションセンターが中心となり、韓国IT女性企業人協会、(社)神奈川県情報サービス産業協会(神情協)、川崎-大邱産業交流協議会が協力して開催されました。

企業紹介では、(株)ソフテム代表取締役の常山勝彦氏、(株)CIJ執行役員副社長の野木秀子氏による2社のプレゼンテーションがそれぞれ実施されました。

その他にも、大邱市内IT企業の自社紹介や、川崎市、大邱市の投資環境説明を市役所担当者が行い、両市の立地優位性をアピールしました。実際に、テレビ電話を活用した面接で、韓国人大学生をシステムエンジニアとして市内企業が採用した実績も生まれ、両地域の人材交流は着実に進んでいます。

また、大邱市内のテクノパークや、日本向けのエンジニアを養成する嶺南大学の教育プログラムの説明を実際に大学で学んでいる学生から受け、その取り組み内容と熱意を実感することができました。今年の9月には市内で3回目となる「日韓ITモバイルITフォーラム」が予定されており、より具体的な産業交流の進展が期待されています。

◆問い合わせ先

川崎市経済労働局国際経済・アジア起業家支援室 ☎044-200-2336 ☎044-200-3920 E-mail 28asia@city.kawasaki.jp



企業プレゼンテーションの様子

J E T R O 貿易・投資相談会

海外事情に明るく、貿易実務経験の豊富なジェトロ認定貿易アドバイザーによる、海外とのビジネスに関する無料相談会を開催します。ぜひ御活用ください。

●相談日時

毎月第2木曜日 13:30～16:50
(事前申込制・無料) ※5月の開催日は14日です。

●申し込み・問い合わせ先

ジェトロ川崎国際ビジネス情報センター
☎044-522-7931 ☎044-520-2030 E-mail kawasaki-ibic@jetro.go.jp

※個別相談・ライブラリーは随時無料で御利用いただけます。(月～金の9:00～17:00)

